

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 先端科学技術体験センター備品購入費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化伝承課教育文化係 電話番号：058-272-1111(内 3578)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,487 千円 (前年度予算額：2,147 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,147	0	0	0	0	0	0	0	2,147
要求額	1,487	0	0	0	0	0	0	0	1,487
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

指定管理者に貸与している県有備品の老朽化に伴い更新を行う。

(2) 事業内容

先端科学技術体験センターの備品購入費

<更新する備品>

・スペシャルラボ音響機器等

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県先端科学技術体験センターの管理に関する基本協定書より、1物品あたり10万円以上の備品の購入は、県が負担することになっている。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	1,025	スペシャルラボ音響機器等更新（ワイヤレスマイク、スピーカー等）
役務費	462	システム調整費、撤去費等
合計	1,487	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）後年度の財政負担

施設設備の状況に応じて計画的に備品を購入する。

（２）事業主体及びその妥当性

岐阜県先端科学技術センターの管理に関する基本協定書より、1物品あたり10万円以上の備品の購入等は、県が負担する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

先端科学技術体験センターは、展示物を所蔵することなく、様々な科学体験・実験を通して、少年の科学への興味を喚起し、知性豊かな創造性に満ちた人材の育成を図るとともに、広く県民に生涯学習の場を提供するための施設であり、科学体験・実験の用に供する様々な備品を管理し、それを指定管理者が活用し、館の運営をしている。

先端科学技術体験センターは、平成11年7月に開館し、21年経過している。備品についても、更新時期を迎えているものや、老朽化しているものがあるため、備品を更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

備品購入であり、指標設定はなじまないため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

先端科学技術体験センターでは、様々な実験等を行っているが、そのうち令和元年度は真空ポンプ、自動裁断機を更新し、令和2年度には大判インクジェットプリンタ、サイエンスラボ1の音響機器等を更新予定。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

備品の更新により、今後も適切な施設運営が実施できると見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	引き続き、適切な施設運営を実施するためにも、計画的に県有備品の更新を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	所有する備品は多数あるが、備品の状態や必要性を考慮して計画的に備品を更新することができた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 先端科学技術体験センターは、平成11年7月の開館から21年が経過しており、備品についても更新時期を迎えているものや老朽化しているものがあるため、計画的に備品を更新する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 先端科学技術体験センターは入館者のニーズを満たした運営ができており、来館者に科学体験の場を提供するためにも、計画的に備品を更新する必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】